

在宅情報マガジン てまり H28.10号

9月は、残暑厳しくまだまだ熱中症に気を付けなければならない日々が続いておりますがいかがお過ごしでしょうか。また、台風がつづいて発生し、各地に被害をもたらされていますが大丈夫でしたでしょうか。

◎地域交流施設で、「つばきの会」食事会と研修会が行われました。



糖尿病の患者さんで組織する糖尿病友の会「つばきの会」食事会



研修会「災害時の血糖管理」について

定期的に行われる友の会には医師および糖尿病療養士も参加して、食事や運動、薬などについて勉強会を行っています。また、会員同志の療養生活上の体験報告や意見交換なども行われています。その他に、友の会会員の皆さんと共に糖尿病スタッフや地域の皆さんと行っていますウォークラリーが10月16日にありますので、みなさんの参加をお待ちしていますとのことでした。

●ウォークラリーのご案内

歩いて学ぶ健康ウォーク

期日 : 平成28年10月16日(日)
集合場所: すいせん
集合時間: 午前8時30分
コース : 三池港周辺
終了時間: 午後4時00分(予定)
参加費 : 1,200円程度(予定)

歩いて学ぶ健康ウォーク

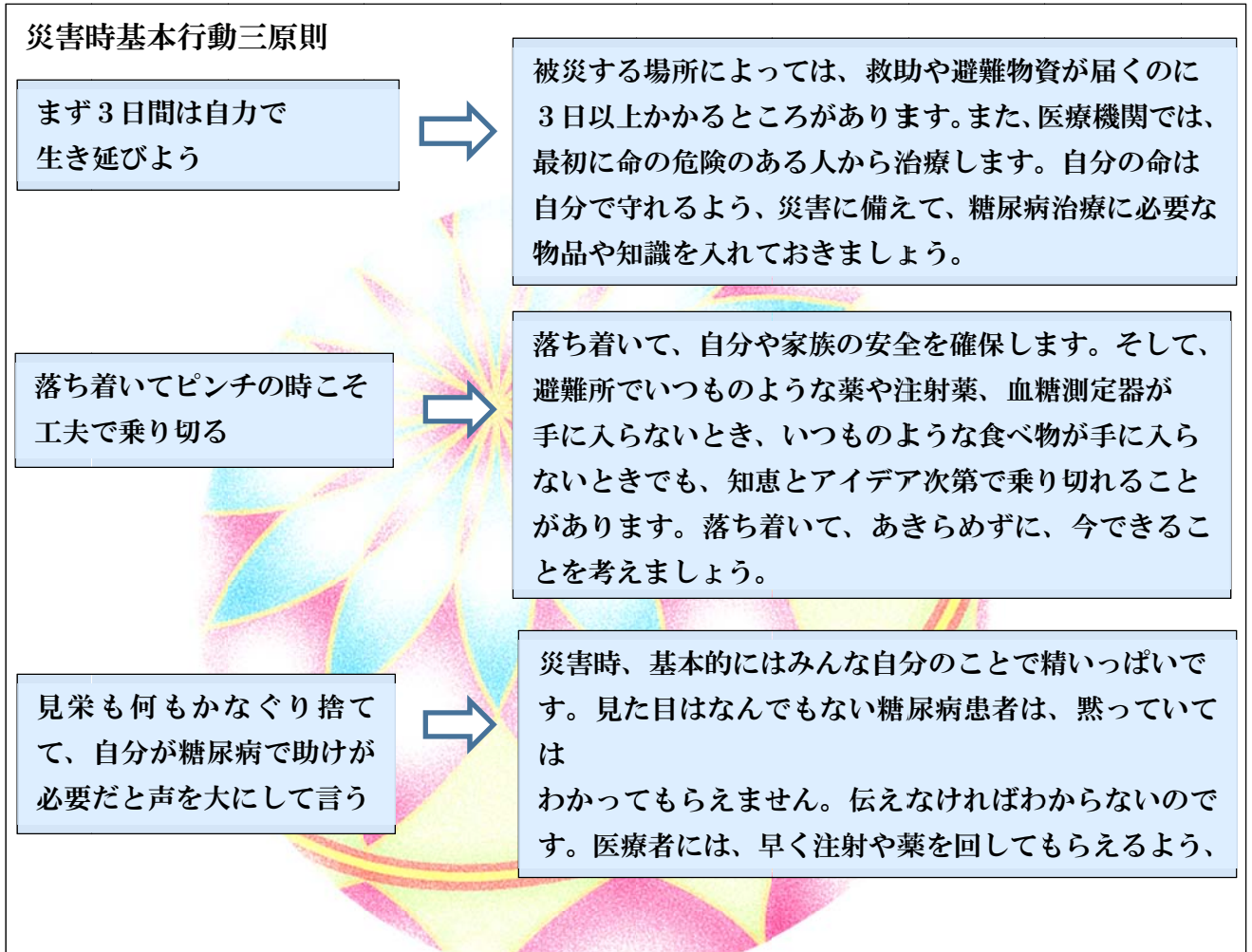
参加費には、施設入館料・昼食代・保険料を含みます。

参加ご希望の方、また詳細については、南大牟田友の会「つばきの会」櫻田・永田までおたずねください。

平成28年10月6日(木) 締切ました。

●研修会「災害時の血糖管理」について

薬剤師による研修内容でした。



◎地域交流施設で、健康推進教室が行われました。

社会福祉士による「ソーシャルワーカーのお仕事について」の内容でした。

ソーシャルワーカー（相談員）のお仕事は
患者さま・ご家族が求める医療は体の治療だけではありません

体が不自由になっては困る
(機能障害)



日常生活・社会生活が
出来にくくなるとは困る
(参加・活動上の障害)



自分で出来ない事が増えると困る
(能力障害)



病気になったらこんな心配も・・・
誰に相談していいかわからないことに対して
ソーシャルワーカーが相談にのっています

入院生活の心配

医療費、
生活費の心配

何か使える制度はあるの？

介護の心配

家族の精神面や
生活面の心配

退院後の生活の心配

誰に相談していいかわからないこと

情報提供によるサポート

様々な制度、しくみがどうなっているか情報を集めお伝えしています。情報が分かれば方向性が見えてくる可能性があります。



紹介・連携

病院の中で相談にのりきれない事柄については適切な機関や施設と連絡を取り合い、紹介します。私たちは日頃から相談機関や施設とのネットワークを構築しています。

通話的役割

病院のスタッフとのやり取りが難しいと感じたら、通話的な役割を果たします。

権利擁護的役割

みなさまの基本的な人権を尊重する為に動きます。
患者さまご家族のお気持ちや立場の理解と共有
みなさまがどのような気持ちでどのような状況におかれているかを病院のスタッフに伝えチームでみなさまをサポートします。

ゆっくりと話を伺います（面談）

お話をさせて頂く中で問題解決の糸口が見つかることがあります。あなたの「こうしたい」「こうありたい」をお話してください。



退院時の様々な援助を行います。

退院時は気持ちの準備、必要な物の準備、利用するサービスの準備など様々な準備が必要になります。

●大牟田地域住民医療・介護情報共有拠点事務室 OSKER

大牟田の医療・介護施設情報を掲載しています。どなたでも好きな写真を投稿できるギャラリーを製作いたしましたのでご紹介いたします。次号は「膝の手術をして思う事」をご紹介します。

TEL 0944-57-2007

Web サイト <https://osker.org/>